

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																		
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	基本	雇用条件の統一、性別や出身による賃金の差異が無いような体制づくりを確立する。とちぎんSDGs宣言にて宣言済。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7				
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		基本	ハラスメント防止、定期的な研修の開催。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1			
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない		<input type="radio"/>		基本	長時間労働を是正する為生産性の改善、管理職における時間管理の徹底。										8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		基本	外国人労働者に対しても労働環境の整備を行っている					4.4					8.7 8.8	10.2 10.3								
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		基本	社員一人一人へ労働災害の未然防止にかかる研修の実施 とちぎんSDGs宣言にて宣言済。					3				8										
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	<input type="radio"/>			基本	メンタルヘルスに対応した職場づくり、休職の体制づくりの策定。					3														
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		基本	多様な人材が活躍できる機会、制度の確立。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		応用						3				8										
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		応用						4			8 9											
	10	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		応用										8.5	10.2 10.3									
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	基本	廃棄物削減のためにリサイクルに努める。破材の有効活用。										11.6	12.3 12.4 12.5		14.1						
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	<input type="radio"/>			基本	木質バイオマスの導入。								7.3					13						
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	基本	省エネ設備導入により温室効果ガスの抑制に貢献する。								7.2 7.3			12.4 13.3								

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

樣式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	塗料や薬品を用いる際は有害のものを利用しないよう努める。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	地元木材の利用による森林の保全、生態系の悪影響を及ぼさないように努める。					6.6										15		
	16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用						6.4												
	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	とちぎんSDGs宣言にて宣言済。今後植林や間伐等、森林の保全に向けた取り組みを行う予定。			3.9		6	7					12	13.3	14	15			
	18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用													12.6					
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用									7.2					13				
	20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用													12.2	13	14	15		
	21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用						6.3					11.6	12.5	12	13	14	15		
公正な事業慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	汚職や贈収賄は社員一同禁止する旨の行動規範を整備し、社内に浸透させる。														16	16.5		
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	不正に関しても社員一同関与しない旨の行動規範を整備し、社内に浸透させる。															16		
	24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	特許、知的財産権の管理を行い、特許侵害が発生しないよう管理する。								8.2	8.3	9							
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	顧客情報の厳密な管理体制の構築。																16	
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																	16	
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用									5		8	10	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	地元木材を活用し、安全なものづくりを行い製作を行う。			3.9									12.4					
	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	国産材、栃木県産材の活用を行い品質向上、管理を徹底する。									9								

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																					
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている				応用																6							
	31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている				応用																12	13	14	15				
社会貢献・地域貢献	32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる				基本	地元木材の利用により、地域の森林の保全に努め、自然環境に良い影響をもたらすよう積極的に県産材を利用する。													4		9	11	12	14	15	17		
	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる				応用																4			11		14	15	17
	34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている				応用																8	9	11	12	13			
組織体制	35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方方が社内に十分浸透している				基本	随時従業員と対話を行い、コンプライアンスについて社内浸透を図る。																				16		
	36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている				基本	経営者が従業員と経営方針、理念を共有する。															8	9					17	
	37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている				応用																						16	
	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている				応用																					16		
	39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている				応用																					16		
	40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている				応用																					16		
	41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している				応用																					16	17	
	42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している				応用																9		11	13	13.1		16	
	43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている				応用																8	9					17	

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ 番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		環境	社会	経済																			

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																		
2																		
3																		
4																		

【記載留意事項】

- SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する場合は赤字で番号を記載しています。（SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
 - 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - 「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度など）